

令和2年度「防災に関するアンケート」報告書

R2. 10. 22
浜北区自治会連合会
調査研究委員会

標記のアンケート調査にあたり、区内の自主防災隊長の方々に積極的なご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げますとともに、日頃のご苦勞に対し厚く御礼申し上げます。

今回のアンケート調査では、自主防災隊の皆さんが災害時の活動に不安を感じていること、また、それに対して多くの課題を認識し、その問題に対応しようとしている姿が読み取れました。

この度、以下のように、アンケートの結果と委員会としての提言をまとめてみました。是非ご一読いただき、今後の自主防災隊活動の参考としていただければ幸いです。

1 調査の詳細

・目的

区内の各自主防災組織の知識、対策、意識などを調査することにより、今後の防災施策に資することを目的とするもの。

・調査時期

令和2年8月中旬～8月31日 回答基準日は令和2年8月1日時点

・調査対象

浜北区内 93 自主防災隊

※アンケート送付時には、委員会作成の冊子「防災関連情報について」を同封し、災害への備えに関する情報の提供も行いました。

なお、こちらの冊子は、今後の啓発活動等にご活用ください。

・回収結果

93 隊中 92 隊が回答提出 回収率 98.9%

2 結果のまとめ

別紙「令和2年度 防災に関するアンケート」結果まとめ のとおり

3 調査研究委員会の提言

自主防災隊長は83%の隊で自治組織の長（自治会長・町内会長）が兼務しており、隊長の任期は75%の隊で1年であります。ただし、自治組織の長としての任務と自主防災組織の長の任務を1年という短期間に同時に果たすことは、かなりの重責であり、このことが、なり手を探す際にも支障となると思われます。また、課題への取り組みを毎年引き継がなくてはなりません。

近年では、毎年、大きな災害が発生しています。自主防災隊長は自治組織の長と兼務ではなく、任期を2～3年の専属とし、防災の取り組みのみを継続的に行えるよう各自治会で検討すべき時期に来ていると言えるのではないのでしょうか。

1 緊急避難場所と避難所の役割の違いについて知っていますか

	全体(92隊)	
①知っている	52 隊	57%
②おおよそ知っている	35 隊	38%
③ほとんど知らない	4 隊	4%
④全く知らない	1 隊	1%
⑤その他	0 隊	0%

} 95%

2 ご自身の地区にある緊急避難場所や避難所の所在地等について知っていますか

	全体(92隊)	
①知っている	70 隊	76%
②おおよそ知っている	22 隊	24%
③ほとんど知らない	0 隊	0%
④全く知らない	0 隊	0%
⑤その他	0 隊	0%

} 100%

3 ご自身の地区にある避難所には何が用意されているか知っていますか

	全体(92隊)	
①知っている	17 隊	18.5%
②おおよそ知っている	54 隊	59%
③ほとんど知らない	17 隊	18.5%
④全く知らない	4 隊	4%
⑤その他	0 隊	0%

設問1・2・3 緊急避難場所や避難所に関する質問

緊急避難場所と避難所の役割の違いについては、9割の隊で認知されている。

また、所在地については、地域の小中学校であることもあり、全ての隊で認知されている。

役員になって、自主防災隊連合会・行政・学校の3者共催で開催している「地域防災連携連絡会」に参加して、始めて知ったというコメントが多く、連絡会の必要性が感じられた。

多くの隊が「緊急避難場所と避難所について住民に周知が必要」と感じており、地域で防災だよりを発行し、周知に努めているという隊[中瀬5区]もあった。

4 警戒レベルについて知っていますか

	全体(92隊)	
①知っている	18 隊	20%
②おおよそ知っている	59 隊	64%
③ほとんど知らない	15 隊	16%
④全く知らない	0 隊	0%
⑤その他	0 隊	0%

} 84%

5 特別警報、警報、注意報について知っていますか

	全体(92隊)	
①知っている	20 隊	22%
②おおよそ知っている	58 隊	63%
③ほとんど知らない	12 隊	13%
④全く知らない	1 隊	1%
⑤その他	1 隊	1%

} 85%

設問4・5 気象警報等に関する質問

行政から発せられる警戒レベルや気象警報については、8割程度が知っているという回答している。ただし、「言葉は知っているが具体的にはわからない」というコメントが多く、内容まで把握しているとは言えないと感じる。

6 自主防災隊の隊長はどのような方が選ばれますか

	全体(92隊)		浜名(28隊)	北浜(31隊)	中瀬(8隊)	赤佐(12隊)	鹿玉(13隊)
①自治組織の長が兼務	76 隊	83%	25 隊	21 隊	8 隊	12 隊	10 隊
②自治組織の長以外	16 隊	17%	3 隊	10 隊	0 隊	0 隊	3 隊
③消防経験者	0 隊	0%	0 隊	0 隊	0 隊	0 隊	0 隊
④その他の行政勤務経験者	0 隊	0%	0 隊	0 隊	0 隊	0 隊	0 隊
⑤その他	0 隊	0%	0 隊	0 隊	0 隊	0 隊	0 隊

7 自主防災隊の隊長の活動年数(任期)はどのくらいですか

	全体(92隊)		浜名(28隊)	北浜(31隊)	中瀬(8隊)	赤佐(12隊)	鹿玉(13隊)
①1年	69 隊	75%	26 隊	24 隊	4 隊	2 隊	13 隊
②2年	19 隊	21%	0 隊	6 隊	3 隊	10 隊	0 隊
③3年以上	3 隊	3%	2 隊	1 隊	0 隊	0 隊	0 隊
④任期は決めていない	1 隊	1%	0 隊	0 隊	1 隊	0 隊	0 隊
⑤その他	0 隊	0%	0 隊	0 隊	0 隊	0 隊	0 隊

※ 長が兼務の場合、長以外、それぞれの任期の詳細は以下のとおり

→ 自治組織の長(自治会長・町内会長)が兼務	1年任期	56 隊
	2年任期	18 隊
	3年以上	1 隊
	特に決めていない	1 隊
		76 隊
→ 自治組織の長(自治会長・町内会長)以外	1年任期	13 隊
	2年任期	1 隊
	3年以上	2 隊
	特に決めていない	0 隊
		16 隊

設問6・7 自主防災隊長に関する質問

8割の隊で自治組織の長(自治会長・町内会長)が自主防災隊長を兼務しており、75%の隊で、隊長は1年任期となっている。

自治組織の長が自主防災隊長を兼務している場合、隊長の任期は自治組織の長としての任期と同じとなっている。

中瀬3区では、自治会長が兼務し1年任期ではあるが、別に防災委員会を設置し、複数年経験者を置いて隊長をフォローしているとのこと。

8 自主防災隊組織の各班の構成員に対する役割の説明・教育・訓練を行っていますか

	全体(92隊)	
①定期的に実施	11 隊	12%
②不定期だが実施	15 隊	16%
③年に1~2回実施	47 隊	51%
④特に実施せず	19 隊	21%
⑤その他	0 隊	0%

} 79%

設問8 教育・訓練等の実施状況

地域防災訓練や毎月の可搬ポンプの点検等を含めて、8割の隊が何らかの形で訓練を行っている。(特に実施していないと回答した隊も地域防災訓練は実施していると思われる)

9 災害発生時に使用する活動用資機材備品や備蓄品(非常食等含む)について

	全体(92隊)	
①適正管理している	40 隊	44%
②不十分だが管理している	51 隊	55%
③特に管理していない	1 隊	1%
④何も無い	0 隊	0%
⑤その他	0 隊	0%

設問9 地域での備蓄について

ほぼ全ての隊で管理されているものの、「数量・内容とも充分とは言えない」や「どのくらいが充分かわからない」という不安の声が多かった。
地域に頼るだけでなく、各家庭での備蓄が重要であるという意見もあったため、自主防災隊連合会等による啓発を継続していく必要性を感じた。

10 自助、共助、公助という考えのもと自主防災組織がありますが、この組織は必要だと思いますか

	全体(92隊)		浜名(28隊)		北浜(31隊)		中瀬(8隊)		赤佐(12隊)		鹿玉(13隊)	
①必要だと思う	66 隊	72%	14 隊	50%	23 隊	74%	7 隊	87.5%	10 隊	84%	12 隊	92%
②必要だが構成員不足	21 隊	23%	12 隊	42%	7 隊	23%	1 隊	12.5%	1 隊	8%	0 隊	0%
③必要ないと思う	1 隊	1%	1 隊	4%	0 隊	0%	0 隊	0%	0 隊	0%	0 隊	0%
④良くわからない	4 隊	4%	1 隊	4%	1 隊	3%	0 隊	0%	1 隊	8%	1 隊	8%
⑤その他	0 隊	0%	0 隊	0%	0 隊	0%	0 隊	0%	0 隊	0%	0 隊	0%

11 現在の自主防災組織は、災害が発生した時に有効な活動ができると思いますか

	全体(92隊)		浜名(28隊)		北浜(31隊)		中瀬(8隊)		赤佐(12隊)		鹿玉(13隊)	
①思う	5 隊	5%	0 隊	0%	1 隊	3%	1 隊	12.5%	1 隊	8%	2 隊	15%
②思わない	8 隊	9%	4 隊	14%	4 隊	13%	0 隊	0%	0 隊	0%	0 隊	0%
③災害の程度による	58 隊	63%	17 隊	61%	20 隊	65%	4 隊	50%	8 隊	67%	9 隊	70%
④不安がある	21 隊	23%	7 隊	25%	6 隊	19%	3 隊	37.5%	3 隊	25%	2 隊	15%
⑤その他	0 隊	0%	0 隊	0%	0 隊	0%	0 隊	0%	0 隊	0%	0 隊	0%

設問10・11 自主防災組織について

自主防災組織については、9割が必要だと考えている。中でも中瀬・赤佐・鹿玉地区では、「必要だと思う」の割合が高く、地域性によるものが「構成員不足」とする隊も少なかった。
全体的に、役員の任期が単年であったり、アパート等の住民が多かったりと、自主防災組織がきちんと機能するかについて疑問を感じている隊が多い。どうすればよいかかわからないという声もあった。

災害時に有効な活動ができるかは、やはり災害の程度によるという意見がある。
この設問に関しても、中瀬・赤佐・鹿玉地区では、有効な活動ができるとは「思わない」とした隊が無かった。
設問10とも関連するが、自主防災組織の各班の構成員が役割を理解しているか、集まって活動できるかどうか不安を感じている。
地域の住民が無関心ではなく自分のことと考え、日頃から近隣との繋がりを持つことを求めている。

※ 設問12以降は、該当するものに○をつけての回答です。

その項目に○を付けた隊がいくつあったか、全体の中で○を付けた隊の割合がどれくらいであったかを示しています。

12 現在の自主防災組織を更に充実させるためには何が必要ですか（必要なものに○ いくつでも可）

	全体(92隊)	
①自主防災要員の確保	45 隊	49%
②自主防災予算の確保	24 隊	26%
③周知・教育・訓練	70 隊	76%
④実務的な指導者の招聘	41 隊	45%
⑤その他	0 隊	0%

全ての地区において、周知・教育・訓練の機会が必要だと考えている隊が多い。

予算の確保といった金銭的な面よりも、指導者を招聘して教育等を行い、地域がレベルアップしていくという人的な充実を求めている。

13 あなたの地域において、いま最も心配な災害を選んでください（心配なものに○ いくつでも可）

	全体(92隊)		浜名(28隊)		北浜(31隊)		中瀬(8隊)		赤佐(12隊)		亀玉(13隊)	
①地震	78 隊	85%	24 隊	86%	26 隊	84%	7 隊	88%	10 隊	83%	11 隊	85%
②大雨・洪水・氾濫	48 隊	52%	13 隊	46%	18 隊	58%	8 隊	100%	3 隊	25%	6 隊	46%
③強風・暴風	53 隊	58%	13 隊	46%	17 隊	55%	3 隊	38%	9 隊	75%	11 隊	85%
④土砂災害	8 隊	9%	3 隊	11%	0 隊	0%	0 隊	0%	0 隊	0%	5 隊	38%
⑤その他	1 隊	1%	1 隊	4%	0 隊	0%	0 隊	0%	0 隊	0%	0 隊	0%

やはり、地震を心配する隊が多い。また、近年、報道等で風による被害を目にすることも多く、強風・暴風への心配が地震に次いで高い割合となった。

地区別に見ると、水害に対する心配は中瀬地区で割合が高く、赤佐地区では低い。

土砂災害に関しては、浜名地区と亀玉地区に心配する隊があるが、北浜・中瀬・赤佐地区では該当が無く、地域による違いが出る結果となった。

14 いま最も心配な災害に備えて、何を実行或いは計画していますか（実行・計画しているものに○ いくつでも可）

	全体(92隊)	
①自主防災要員の確保	24 隊	26%
②自主防災予算の確保	14 隊	15%
③周知・教育・訓練	68 隊	74%
④実務的な指導者の招聘	16 隊	17%
⑤その他	12 隊	13%

設問12で必要とした「周知・教育・訓練」を実行するよう計画している隊が多い。

15 災害発生の時、頼りにする先はどこですか（頼りにするものに○ いくつでも可）

	全体(92隊)	
①ご近所・親戚等	60 隊	65%
②町内会・自治会	69 隊	75%
③消防・警察・自衛隊等	73 隊	79%
④その他の行政	24 隊	26%
⑤その他	1 隊	1%

16 地域の防災にとって、必要だと思うものを選んでください（必要なものに○ いくつでも可）

	全体(92隊)		浜名(28隊)		北浜(31隊)		中瀬(8隊)		赤佐(12隊)		亀玉(13隊)	
①安否確認体制	76 隊	83%	23 隊	82%	26 隊	84%	6 隊	75%	10 隊	83%	11 隊	85%
②避難の誘導	48 隊	52%	15 隊	54%	17 隊	55%	3 隊	38%	5 隊	42%	8 隊	62%
③避難所運営	54 隊	59%	13 隊	46%	21 隊	68%	3 隊	38%	7 隊	58%	10 隊	77%
④要支援者対応	52 隊	57%	13 隊	46%	21 隊	68%	5 隊	63%	6 隊	50%	7 隊	54%
⑤周知・教育・訓練	36 隊	39%	8 隊	29%	14 隊	45%	5 隊	63%	4 隊	33%	5 隊	38%

安否確認体制が必要と回答している隊が最も多かった。

避難誘導、避難所運営、要支援者対応も半数以上の隊が必要だと考えており、各隊の関心の高さや課題認識が高いことが伺える。